

川端康成 戦時下に、小説「伊豆の踊子」「雪国」などを書き、戦後、日本人初のノーベル文学賞を受け、まもなく自殺。

かわばたやすなり

Bushidou・1899 = 大阪市生れ。医師の子であるが、

田中正造直訴1901 = 2歳：父と

教科書疑獄・1902 = 3歳：母を相次いで失い、祖父母の元で育てられる。

日露戦争終・1905 = 6歳：

満鉄発足・1906 = 7歳：尋常小学校入学。祖母が死去。

アヲキ 創刊・1908 = 9歳：

伊藤博文暗殺1909 = 10歳：姉も死去。

明治天皇没・1912 = 13歳：中学校に入学し、文芸への関心が高まる。

第一次大戦始1914 = 14歳：祖父も没して孤児となる(母の実家に引き取られる)。「十六歳の日記」,

ロシア革命・1917 = 18歳：第一高等学校文科乙類に入学。

本格政党内閣1918 = 19歳：初めて伊豆へ旅行、以後10年毎年湯ヶ島へ行く。

ハルビヤ条約1919 = 20歳：校友会誌に「ちよ」を発表。

大暴落・1920 = 21歳：東京帝国大学英文科に入学。学友及び今東光と第6次「新思潮」発行を計画。菊池寛の恩顧を受け始める。

原敬首相暗殺1921 = 22歳：本郷のカフェの娘との恋愛・婚約・破談。*「新思潮」を発刊、「招魂祭一景」を発表し、その新鮮な感覚を認められて文壇に登場。

水平社結成・1922 = 23歳：国文科に転じる。「湯ヶ島での思い出」を執筆。

関東大震災・1923 = 24歳：菊池寛の「芸芸春秋」同人に加えられる。

護憲三派圧勝1924 = 25歳：東京帝大国文科卒業。横光利一らと新感覚派の機関誌「芸芸時代」を創刊し、新感覚派運動を興す。

治安維持法・1925 = 26歳：一年の大半を湯ヶ島で過ごす。松林秀子と会う。

円本時代始・1926 = 27歳：秀子と同棲。古今独歩の「掌の小説」集「感情装飾」刊行。シナリオ「狂った一頁」を発表し、映画化。

金融恐慌・1927 = 28歳：自伝的・実録的な作品の傑作「伊豆の踊子」刊行。最初の新聞連載小説「海の火祭」。

世界恐慌・1929 = 30歳：「新人才華」ほか文芸時評を盛んに書く。新興芸術派に伍した「浅草紅団」を新聞連載。

満州事変・1931 = 32歳：秀子と正式に結婚。死や霊の世界を想起させる「水晶幻想」。

五一五事件・1932 = 33歳：「叙情歌」,

国際連盟脱退1933 = 34歳：「禽獣」をへて、

帝人疑獄事件1934 = 35歳：到達した極点となる「雪国」の執筆開始。

芥川直木賞始1935 = 36歳：*「雪国」初編が完成、近代抒情文学の代表作となった。芥川賞の選考委員になる。

この間、様々に出会った人たちそれぞれを世に送り出す。

日中戦争始・1937 = 38歳：初の単行本「雪国」を刊行、芸芸懇話会賞。

健保+総動員 1938 = 39歳：「川端康成選集」刊行開始。

この間、囲碁やゴルフでもレベルの高いところを示す。

日米開戦・1941 = 42歳：渡満するが、開戦間近ということで帰国。「名人」執筆。

1942 = 43歳：島崎藤村、志賀直哉らと季刊「八雲」同人になり、編集を受け持つ。

創価学会検挙1943 = 44歳：従兄の娘を養女とし、「故園」を書く。

年金+総武装 1944 = 45歳：菊池寛賞。

敗戦・1945 = 46歳：{鎌倉文庫}が出版社となり、その重役に就く。

新憲法公布 1946 = 47歳：{鎌倉文庫}から雑誌「人間」を創刊。

新憲法施行 1947 = 48歳：「続雪国」を発表して完結。この前後10数年、文壇の知友が相次いで亡くなり、弔辞を読む。

極東裁判判決 1948 = 49歳：「川端康成全集」刊行を期に一転を図る。日本ペンクラブ会長に就任。

三大事件 1949 = 50歳：「千羽鶴」、観念的虚構性の強い作品「山の音」の連載開始。

朝鮮戦争始 1950 = 51歳：「舞姫」を連載。{鎌倉文庫}が倒産。

独立回復・1951 = 52歳：

メーデー事件 1952 = 53歳：「千羽鶴」を刊行し、芸術院賞。

TV放送始 1953 = 54歳：芸術院会員。

自衛隊発足 1954 = 55歳：「みづうみ」の連載開始。「山の音」を完結、刊行し、野間文芸賞。

国連加盟 1956 = 57歳：「川端康成選集」を刊行。

なべ底不況 1957 = 58歳：日本で初めて国際ペン大会を開き、

イスタラマ 1958 = 59歳：弓浦市。国際ペンクラブ副会長になる。

美智子妃 1959 = 60歳：「川端康成全集」刊行。

安保闘争・1960 = 61歳：

たいつたい病始 1961 = 62歳：「古都」の執筆開始。文化勲章受章。

全国総合計画1962 = 63歳：睡眠薬の禁断症状で入院。「眠れる美女」で毎日出版文化賞。世界平和アピール七人委員会。

TV宇宙中継始1963 = 64歳：「たんぼぼ」の連載開始。

大学紛争始 1965 = 66歳：NHK連続テレビ小説「たまゆら」放映。日本ペンクラブ会長を辞任。「片腕」,

霧ヶ関ビル・1968 = 69歳：「雪国」,「千羽鶴」の評価により、*日本人初のノーベル文学賞を与えられるが、受賞記念講演「美しい日本の私 その序説」は日本美の精髓と西欧的二ヒリズムと違う虚無を説き、

ドクショック・1971 = 72歳：

日中国交回復1972 = 73歳：仕事部屋で、ガス自殺した。